



資料のダウンロードはこちらから→

- テーマ 困っていませんか？子どものイヤイヤ期
- 対象 乳幼児の保護者
- 時間 45分
- ねらい イヤイヤ期特有の悩みや困りごとを共有し、イヤイヤ期の子どもとの接し方について考える。
- 準備物 筆記用具、名札（参加者、スタッフ）、ワークシート、時計（ストップウォッチ）、ルールカード（3枚）、アンケート、各グループ（模造紙1枚、付せん2色×10枚×人数、マジック1箱）

1 はじめに（2分）



セリフ
1

家庭教育や子育てでは、不安や悩みも多くなりがちですが、いろいろな人と話し合うことができれば、気持ちが楽になることもあると思います。今日の話合いがこれからのみなさんにとって、自身の考え方が広がるきっかけや仲間づくりにつながる時間になることを期待しています。今日は、「困っていませんか？子どものイヤイヤ期」をテーマに、自我の芽生えた子どもへの対処法について、エピソードを参考に話し合ってみましょう。

2 自己紹介（アイスブレイク）（7分） ※他のアイスブレイクでも可(P78~P79)

セリフ
2

まずはじめに、自己紹介タイムです。その手順を説明します。グループで順番に自己紹介をします。1人1分程度で自己紹介をしてください。紹介する内容は、①名前②最近あったグッドニュースです。②については、どんな些細なことでも構いません。それでは、始めてください。

アイスブレイク 6分



POINT 一緒に喜んだり、お祝いの言葉を言ったりして、発表者への反応も大切にするように伝えておきましょう。

3 プログラムのルールを説明する。（1分）



セリフ
3

それでは、このプログラムのルールについて確認しておきます。（3つのルールを提示）ルールは3つあります。1つ目は「尊重」です。お互いが発言の時間を守り、他者の発言は最後まで聞きましょう。2つ目は「共感」です。自分とは違った考え方や感じ方が新たな気付きにつながります。批判せず、お互いの感じ方や考え方を認め合いましょう。3つ目は「守秘」です。みなさんが安心して話し合いができるように、ここで知り得た秘密や情報は持ち帰らないようにしましょう。ルールを守って、よりよい学びと交流を深めましょう。



POINT 3つのルールは、参加者がいつでも確認できるように、会場内に掲示しておきましょう。（上記2次元コードからダウンロード可）

4 エピソードを読んで、思ったことや考えたことを伝え合う。(15分)

セリフ 4 まずはじめにエピソードを読んで感じたことをできるだけたくさん、黄色の付せんに書いてください。1つの考えにつき、付せんは1枚使ってください。時間は5分間です。

付せん記入 5分

セリフ 5 それでは、付せんに書いたことを模造紙に貼りながら発表をしていきましょう。発表は1人1分程度です。同じような内容は付せんを重ねたり、まとめたりして、グループ分けをしながら貼っていきましょう。時間は8分間です。

グループ活動 8分

セリフ 6 みなさん、お互いの発表を聞いて、どのような感想をもちましたか？何を言っても何をしても子どもが「イヤイヤ」と言って、困ったことがある方も多いのではないでしょうか。

5 イヤイヤ期の対応について、考えたことを話し合しましょう。(17分)



セリフ 7 次に、子どもがイヤイヤと言い始め、言うことを聞かずに困ったとき、どのように対応するとよいか、そのコツや手立てを青色の付せんに書いてください。付せん1枚には1つの内容でお願いします。時間は5分間です。

付せん記入 5分

POINT 大声で怒鳴ったり、執拗に叱ったりするなど、行き過ぎた行為を考えることも、大切なポイントになることを伝えておきましょう。

セリフ 8 それでは、先ほどと同じように付せんを貼りながら発表をしてください。全員の発表が終わったら、付せんのアイデアをもとに、イヤイヤ期の接し方について、自由に話し合ってみましょう。時間は8分間です。

グループ活動 8分

セリフ 9 「なるほど!」と思えた手立てやアイデアは生まれたでしょうか。それでは、2グループほど、話し合った内容をみなさんに伝えていただきます。よろしくお願いします。(発表グループには事前に伝えておく)

全体交流 2分

6 学習のまとめを行う。(3分)

セリフ 10 いかがでしたか。イヤイヤ期は、できることが増え、自我が芽生え始めた成長の証と考えることで、悩みや不安も少し軽減できるかもしれませんね。最後に今日の時間を振り返って、ワークシートに感想をまとめてみましょう。

ワークシート記入 2分

セリフ 11 以上で、終了です。アンケートにご協力いただける方は、提出してからお帰りください。ありがとうございました。